うしく里山の会 広報誌
さとやま
No. 88　2010年6月号

NPO法人 うしく里山の会
事務局 〒300-1212 茨城県牛久市結束町489-1
（牛久自然観察の森内）
TEL 029-874-6600　FAX 029-874-6812
E-mail u_satoyama@infoseek.jp
HP http://u-satoyama.web.infoseek.co.jp/

黄葉・若葉を自然なままに感じたい！

チーム街路樹２０
増田　勝彦

↑
黄金色に輝く
イチョウの木

牛久市旧みどり野地区

寒々と剪定された
イチョウの木
↓

松戸市常盤平イチョウ通り

写真：2枚とも昨年12月1日写す
増田

●チーム街路樹２０は、平成二十年十二月に活動を開始、今までに市外の研修見学会を八回実施しました。

昨年十月には市のバスを借りて、「日本の道百選」の群馬県大泉緑道、十一月は横浜の「街路樹発祥の地を訪ねて」で、馬車道・山下公園、また昨春に見学した松戸市常盤平を、十二月初旬に再び訪れました。すでに常盤平は、美しい黄（紅）葉と枯葉の絨毯で、秋も終盤の美しい街路光景でした。

●一方、牛久市内の秋、春の景観は殺風景です。紅葉前に剪定されて、葉のない幹ばかりの街路樹が市内各所で目につき、それは実に寒々としています。

功罪相半ばする街路樹ですが、チーム街路樹２０は、四季折々の自然のうつろいをありのままに、市民に感じて欲しいと願うメンバーの集まりです。

●発足来、チーム街路樹２０は、樹名板の取付、市広報うしく「わが街の木」の記事と写真提供で、市と協働関係にあります。

昨秋には新たに、ロマンチームを編成、第一回落ち葉掻きを市内二カ所で行いました。これは、「黄葉・若葉を自然なままで感じたい」と言うメンバーの要望を、市担当課の賛同を得て実践した純ボランティア活動です。

●落ち葉かき対象のモデル地区を二カ所設定して、当地区は剪定を控えて、自然のままの樹形で育てることになっています。その結果、市役所裏近隣公園脇のメタセコイアは、今春は見事な若葉をつけて牛久の新緑をリードしています。

我々は市内全域が剪定抑制地域になるまで活動を続けます。メンバー全員が落ち葉をゴミととらえずに、自然界の贈り物として捉えています。

●市内の景観も、市まちづくり計画によって変わろうとしています。チーム街路樹２０は、自然と街路環境を、市民の目線を忘れずに守っていきたいと考えています。

プロジェクト活動報告

あやめ受託事業報告

坂　弘毅

アヤメ園に本当のアヤメを!

これまで、牛久観光アヤメ園にはアヤメといいながらアヤメは無く、九九%がハナショウブで、残り一%がカキツバタでした。アヤメを漢字で書くと「菖蒲」となりますが、ショウブとも読みます。それでは、アヤメとショウブは同じかと云いますと、これが全く違うんです。ここがやっかいなところで、

○ショウブ・サトイモ目ショウブ科
○アヤメ・ユリ目アヤメ科
○ハナショウブ・ユリ目アヤメ科
○カキツバタ・ユリ目アヤメ科

という全く違う種になります。

ショウブは五月の端午の節句で菖蒲湯に入れる香りの良い葉です。本来水生の植物で、花だってガマの穂を小さくしたような素朴な花で、お世辞にもきれいとは云えません。方やアヤメは、畑などの比較的乾いた土地に合う植物で、ハナショウブの原種となり素朴で美しい花です。

素朴ながら美しい花のアヤメ
坂　10. 5. 10

牛久観光アヤメ園にはこのアヤメがありませんでしたが、観察の森やアヤメメンバーの知人宅などから移植の他、十和田市の花菖蒲農家からも新種を調達し、北側の乾燥した圃場に移植しました。早いものはすでに咲き出しました。ハナショウブほど華やかさはありませんが、素朴な美しい花です。来年のアヤメ園はアヤメが咲いた後、カキツバタが咲き、ハナショウブとバトンタッチされて人々の目を楽しませてくれることでしょう。そして、秋彼岸の頃には一万株の彼岸花が一斉に咲き誇り、牛久の新名所となることは間違いありません。

アヤメの新しい株を植える
坂　10. 4. 29

牛久市観光アヤメ園

自然観察出前講座

石神　良三

小学生との夢の共有
ヘイケボタル生息環境保全支援スタート

連休明け、五月六日の午前中、牛久沼東岸に流れ込む根古屋川上流に広がる谷津田の一角に、牛久市立向台小学校五年生（一一〇名）のはなやいだ歓声が響きわたりました。

この日は、毎年五年生が「総合学習」の時間で取り組んでいる、ヘイケボタルの生息環境保全活動の中でも、とても重要な「田植え」の日でした。

ヘイケボタルは、古来より米作りの場である「田んぼ」を主な生息地としてきた昆虫であり、今から六〇年ほど前までは、全国各地の谷津田では、夏の風物詩として、その光を観賞することができました。しかし、生息環境の変化により、生息地は激減してしまいました。

田んぼをお借りしている鈴木さん（中央）から、お話を聞く児童たち　10. 5. 21（写真提供向台小）

市内に残る数ヶ所の生息地の一つですが、小学生にとっても私たちメンバーにとっても、とてもやりがいのある夢のある活動といえます。

素足で楽しく田植えをしています　10. 5. 21（写真提供向台小）

写真に見られるように、当日は田んぼをお借りしている、牛久町の鈴木義隆さんから、谷津田やヘイケボタルのことについてお話をいただきました。

また、子ども達は、先輩から引き継ぐ活動（三年次）ですが、田んぼに素足で入るという体験を持つ子は少なく、不安と喜びの交錯する貴重な体験でもありました。

出前講座のメンバーが関わる支援活動を列記すると、四月の「田おこし」と「ホタルの生態の講義」、五月の「田植え」と「生き物調査」、七月の「成虫観察」、九月の「稲刈り」、十月の「生育地全体の整備」などが予定されています。

今年は、生息地の一部が雨水調整池として整備されたので、その影響も懸念されますが、市担当課の配慮により、田んぼをはじめ生息環境が維持されたことに感謝したいと思います。

子ども達が、豊かな自然環境の指標ともいえるヘイケボタルの生態とその保全体験をとうして、自然への豊かな感性を育んで欲しいと願わずにはいられません。

里山自然観察隊

平塚　芳雄

モニタリング１０００里地調査（植物相）を開始

観察隊は今年度の主要活動として「モニタリング１０００里地調査（植物相）」を計画、これ迄に二回調査活動を実施しました。

第一回は四月二十五日（日）午後一時半から、第二回は五月八日（土）朝九時からそれぞれ約三時間半以上の時間で実施。参加者は一、二回とも六名でしたが二回目については観察隊メンバー外の二名の特別参加があり、内御一人は自然観察のベテランで植物に限らず野鳥や昆虫にも詳しいモニタリング１０００里地調査の経験もある方で大いに助かりました。

この調査は環境省生物多様性センターが平成十五年度から開始した事業で、日本全国に約千箇所のサイト（調査地）を設定し長期間モニタリング調査を実施することで、生態系の異変を早期に把握し生物多様性の保全に資する対策に結び付けようとするもの。調査項目は植物相、鳥類、中・大型哺乳類、水環境など九項目。観察隊としては「植物相」を調査項目として参加する考えで、未だ正式な参加登録はしておりませんが、調査活動は環境省生物多様性センターの基準、ルールに従い調査を開始した次第です。

調査場所は市内城中町地域、ルートとしては得月院前駐車場をスタート地点とし、駐車場東側の坂道を下り竹林の中、通称城中街道を抜け水神塚の西側に沿う細道から集落内道路を牛久城址へ、城址南口から特別養護老人ホームの前の道路を通

り稲荷神社へ、更に神社外周に沿って得月院の西側・北側を回り駐車場に戻ってくる約二・五キロのコース。

調査に当たってはコースを七区分し、区間毎に調査時点で蕾・開花・結実の状態のもの（シダについては胞子の有無）をリストアップし記録する。

私達の調査対象範囲としては植物の中でも樹木は対象外とし、草本植物（種子植物とシダ植物）に絞り、明らかに園芸種や作物として植栽されているものは対象外にしました。

実施してみて、類似する植物を切り分け植物名を確定するためには豊富な経験・知識が必要で正確な調査には時間が掛かることを改めて実感。特にイネ科、カヤツリグサ科、シダ類については通常参加メンバーだけでは種名の同定が難しい。今は同定が困難なものはその植物を採集し渡辺泰さんに後日確認することにしています。

今後、月一回以上定期的に調査を行う予定ですが、信頼に足る水準で調査を継続して行えるかが今後の課題です。

牛久城址･林内での調査の情景
鷲尾　10. 5. 8

雑木林応援隊　原口　愛子

園路の整備「竹垣の補修」をおこなう

前日の雨で、次の日に予定されていた活動が行えるか心配されたのですが、朝から強い日差しが照りつける真夏のような天気に、皆汗を拭きながらの作業となりました。

今年度は園路の整備の一環として、園入口前の道路側の古くなった竹垣を補修する事になり、今回は垣根を支える支柱作りのために木の伐採を行いました。

悪戦苦闘する支柱の皮むき　10. 5. 9

丁度良い太さの杉を探して数本倒し、決められた長さに揃えて皮をむく作業に取りかかります。皮をむく仕事は女性でも可能で、鉈やナイフなどを持ち寄りむき始めましたが、その木によっては簡単にむけるのとむけない木があることに気付きました。

木に勢いがあって水分を多く含んでいる木は、ツルリとおもしろいようにむけますが、皮の間などに虫などが入って枯れかかっている木は、皮が幹にへばりついていてなかなかむけません。そんな木を選んだ人は、他の人が三本終ってもまだ一本も終らない、という悪戦苦闘の状態が続くのです。

きれいにむき終わると、地面に埋め込む部分を削って尖らせ、腐食防止のために先端部分を焼きます。その支柱を約六〇本程用意しました。

その後、親柱と支柱の埋め込み作業に取りかかりましたが、正門向かい側の道路際は小石だらけで、約三〇㎝の深さに掘るだけでも一苦労。しかも高さを同じに、垂直に測りながら慎重に進めなければならないので時間がかかり、これを六〇本以上も埋め込むことを考えると気が遠くなりそうです。

しかし、優秀な頭脳と、それぞれの分野で極めてきた技術と体力を持ち寄れば、応援隊には不可能という言葉はありません。

今後は竹材を確保し、本格的な竹垣作りに入っていく予定です。

竹垣作りと平行して、来園者の休憩用の椅子作りの案が出て、さっそく会員が作った木製の見事な試作品を、テストケースとして二台ネイチャーセンターの前に設置してみました。座り心地の良い椅子ですので、来園者の人達に喜んでいただけると思います。

ネイチャーセンター前に設置された
手作りの椅子　10. 5. 9

巨木リサーチ2事業報告

臼井英雄

新年度事業計画策定事前調査に参加して

私事ではあるが昨年度は生活環境の激変で、活動に殆ど参加出来ないで終ってしまった。ここでは三月十七日の次年度計画策定のための西部地域事前調査に参加し、印象に残ったことを報告する。

一・東貓穴町八幡神社と石田氏屋敷・

八幡神社は三年ぶりである。社の東側の雑木林が宅地造成され、周りの環境が急速に変化していた。社も裏側の杉林の間伐や下刈りもされ、市民の木「No.1ケヤキ・No.2エノキ」の周りも手入れされ、綺麗になっていた。ただ一番驚いたのは、ヤブツバキの古木二本が写真のようにバッサリと切り倒されていたことである。市民の木と社の裏にあるイヌザクラと共に、ガイド対象木だっただけに残念である。

八幡神社東隣のニッケイの大木がある石田家は二年ぶりである。前回は留守であったが、今回は当主が応対してくれた。ニッケイの根が昔は駄菓子屋で、子供のお八つとして売られていたことや、焚火の火がニッケイの幹に燃え移って一部が損傷したこと等、昔話に花を咲かせ、ガイド対象木として快く承諾してくれた。最後にガイド参加者の土産に配ったら、と根を掘ってくれた。ガイドG責任者が持ち帰り、活用することにした。

二・牛久町正源寺といぶきの団地南公園・

正源寺は三年ぶりである。本堂南側道路脇の墓地斜面林が全面伐採され、荒涼とした風景になっていた。市民の木のムクノキ等のガイド対象木の周りのヤブがきれいに手入れされていた。市民の木であったケヤキが伐採されたが、年輪がその木の歴史を刻んでおり、ガイドの対象になるだろう。

いぶきの団地南公園の希少木サワグルミは剪定とは程遠い切断のされ方で、ガイド対象にはどうかと思われた。

三・岡見町宝積寺・

本堂裏の竹ヤブが間伐と下刈りがなされ、裏からも道が出来るようになっていた。入口前の杉林が伐採され、イロハモミジが明るく映えるようになっていた。

四・上柏田日枝神社・

昨年の市民の木「No.6スダジイ・No.7スギ」の管理活動以来である。参道が綺麗に除草され、歩き易くなり、市民の木の周りのマダケも管理Gにより広く伐採されていた。

五・結束町鹿島神社・

四年ぶりに訪れた。祠の土台が腐ってきて修理中であった。市民の木のスギの周りも間伐と下刈りがなされ、以前とは比べ物にならない位、明るくなっていた。この部落にいる友人に聞いたところでは、祠の修理が終わるまでには、もっと周りを綺麗にするそうである。

今回事前調査に参加して感じたことは、全般に対象樹木の生育環境が良くなっている点であった。これは私達が地道にやってきた活動が関係者に理解されてきたことの現れではないかと思う。

東貓穴町八幡神社境内で、古木ヤブツバキの伐採幹をみる調査参加者

10. 3. 17

親子農業体験講座

一般参加者　田口　珠美

里芋植え

四月十七日　二回目の農業体験の日は、季節外れの雪！初回に植えたジャガイモは大丈夫かしら？そして雨天順延の一週間後。

四月二十四日　晴天。期待と不安を抱え、畑へ行ってみると・・・寒さのせいか？土を被せすぎたか？ジャガイモの芽は出ておらず少々残念。気を取り直して、今日の本題『里芋植え』四種類の種イモ「ドダレ・セレベス・八ツ頭・筍芋」を植えます。

一番大変な仕事と思われる畝作りは、すでに耕運機で済ませて頂いてあり、準備万端。早速種イモを畝に置き、豚糞と肥料をやり、土を被せる。さらに、ヤーコン、前回余ったジャガイモ、昨年収穫した里芋（土に埋めて保存してあったものを掘り出して）も植えました。子供達も一所懸命に作業を進めます。かと思えば、蛙やバッタに夢中の子、森に探険に行く子、珍しい農具に興味津津の子・・・みんな泥だらけで、楽しい時間を過ごしました。おまけに、労働の後のおやつの美味し

いこと！収穫祭で頂くお芋の味はいかばかりか・・・と思いを馳せつつ「雪にも天候不順にも負けず、元気な作物が育ちますように。この貴重な体験が子供達の心に種を落とし、いつか花となり実となりますように。」と願う母なのでありました。

がんばるお父さん’S　10. 4. 24

南部の自然を守る会　阿部　幸浩

ホタル生息地の保全活動を実施

四月二十七日、ホタル生息地の保全活動を行いました。ここ数年でホタルの幼虫が生息している休耕田がヨシ等に覆われ、湿地が乾燥化の危機に直面していました。当日は、総勢十名の会員が参加し、投げ捨てられた空き缶等のゴミを取り除き、草刈りと刈草の搬出作業を行いました。

参加者それぞれが、ホタルが夏の夜空に舞う様子を想像し、生き物があふれるこの地の魅力を語り合いながら、楽しく作業ができました。今後も継続的に保全活動を行いますので、興味のある方はご参加ください。

刈草は湿地の富栄養化を防ぐため搬出
10. 4. 27

七月第一もしくは第二日曜日、近隣保育園のホタル観察会に向けて再度草刈り作業を行います。詳しくは後日、ホームページでお知らせします。

理事会からのお知らせ　坂　弘毅

第六回通常総会が開かれました

先日の通常総会では皆様方のご協力をいただきましてありがとうございました。無事終了しましたことをご報告いたします。

一・総会終了後、臨時の理事会を開き、各役職を決定いたしましたのでご報告いたします。

代表理事　坂　弘毅
副代表理事　石神　良三
副代表理事　阿部　幸浩

以上でございます。理事の担当職につきましては、総会議案書通りでございます。

二・通常総会でご報告いたしました、収益事業につきまして、今月末より、収益事業検討委員会（仮称）をスタートさせます。検討内容につきましては逐次ご報告いたします。

ことば

レッドリスト
レッドデーターブック

環境省が野生生物の保全のため、絶滅の恐れのある種を把握し、一般の理解を広めるために取りまとめたもの。（関連・絶滅危惧）

「レッドリスト」＝日本の絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト。

「レッドデーターブック」＝日本の絶滅のおそれのある野生生物の種についてそれらの生息状況等を取りまとめたもの。

結束町みどりの保全区 エコアップ作戦

齊藤　孝

うしく里山の会全体事業
「結束町みどりの保全区エコアップ作戦」
参加者募集のお知らせ

牛久市結束町の牛久自然観察の森に隣接する「牛久市結束町みどりの保全区」の森林維持管理作業を行う「エコアップ作戦」では、地域の皆さんの協力のもと、下草刈りや除間伐、風倒木の処理等を行なっています。活動には会員・一般問わず参加出来ます。皆様のご参加お待ちしています。

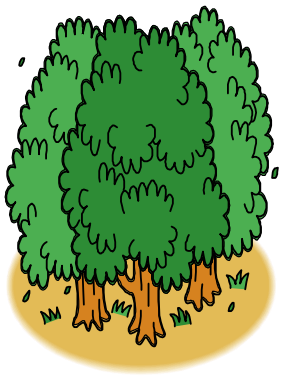
六月の活動日時.
六月四日（金）　午前九時～十一時半
六月二十日（日）　午後一時～三時半

集合. 牛久自然観察の森ネイチャーセンター
一階倉庫前（予約不要）
荒天時は中止（ホームページに情報掲載）

持ち物. 長靴、軍手（長袖、長ズボンで）

※刈払機・チェーンソー使用は資格所有者のみ。

問い合わせ先.　029-874-6600　担当：石神



牛久自然観察の森だより

齊藤　孝

ゲンジボタル鑑賞会ボランティア募集

今年も自然観察の森園内でゲンジボタルが舞う季節となりました。今年は三日間、解説ボランティアを募集いたします。各日の鑑賞会開催時間及びボランティア活動時間は次の通りです。

☆鑑賞会日時：六月五・十二・十九日（土）
午後七時三十分～八時三十分（雨天中止）
ボランティア集合午後六時三十分、
解散午後九時十五分

☆研修会日時：六月五日(土)
午後三時～四時　ネイチャーセンターにて
（雨天決行）

ボランティアは三日間のうち一日でも結構です。主にホタル観賞ポイントでの解説となります。

※ボランティア申込方法→六月四日（金）までに牛久自然観察の森（担当斉藤）まで電話にてお申し込み下さい。なお、五日の研修会・ボランティア活動両方に参加される方は夕食等ご持参下さい。

（問い合わせ先）　029-874-6600　担当：齊藤

今月の古木・希少木
No. 38
クヌギ

ブナ科コナラ属の高さ十五mほどになる落葉高木です。クヌギの語源は国木（くにき）という説があります。クヌギ林は低山地や平地で、かつて照葉樹林に混成して人為的に薪炭用材として植えられたものが里山と呼ばれる林で残っているものが多いようです。牛久市内でも結束町の牛久自然観察の森や各地にみられる薪炭林由来の雑木林に多く見られます。

樹皮は暗い灰褐色で、厚いコルク状の割れ目ができます。葉は互生し、長楕円形でふちは鋭い鋸歯があります。葉身は長さ八～十五cm、幅は三～五cmの長楕円状披針形です。

花は雌雄同株の風媒花で、四～五月葉の展開と同時に写真のように開花します。雄花序は長さ約十cm、葉が開ききる前に新枝の下部から垂れ下がります。雌花は新枝の上半部の葉腋に一～三個つきますが小さく目立ちません。

果実は堅果で、二年目の夏から急に成長しはじめ、秋には直径二cmあまりの球形のドングリに成熟します。ドングリが入っている殻斗（カクト）には線形の鱗片が螺旋状にびっしりとついています。

（村尾重信）

クヌギの葉と花序　　10. 4. 21

2010年 6月 NPO法人うしく里山の会 活動カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
		1 ○森の畑 9:30畑	2	3 ○アヤメ園(受) 7:50アヤメ園P	4 ○ｴｺｱｯﾌﾟ作戦 9:00NC	5 ○ﾁｰﾑ'街路樹20(受 8:20市役所玄関 (会報等原稿〆切)
6	7 (休園日) ○アヤメ園(受) 7:50アヤメ園P	8 ○森の畑 9:30畑	9 ○巨木ﾘｻｰﾁ2(特 9:00ボランティアC前	10 ○アヤメ園(受) 7:50アヤメ園P	11	12 ○親子農業体験講座 9:00畑 ○里山自然観察隊 13:30得月院P
13 ○雑木林応援隊 9:00炭屋	14 (休園日) ○アヤメ園(受) 7:50アヤメ園P	15 ○森の畑 9:30畑	16	17 ○アヤメ園(受) 7:50アヤメ園P	18 ○森の畑 9:30畑	19 ○親子農業体験講座 9:00畑
20 ○運営委員会9:00NC ○理事会13:00NC ○ｴｺｱｯﾌﾟ作戦 13:00NC	21 (休園日) ○アヤメ園(受) 7:50アヤメ園P	22 ○森の畑 9:30畑	23	24 ○アヤメ園(受) 7:50アヤメ園P	25	26 ○巨木ﾘｻｰﾁ2(特 8:30市役所玄関前 ○ﾁｰﾑ'街路樹20(受 13:00市ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱC (交流会)
27 ○雑木林応援隊 9:00炭屋 ○公開里山セミナー 10:00NC ○会報発送 13:00NC	28 (休園日) ○アヤメ園(受) 7:50アヤメ園P	29 (休園日)	30 (休園日)			

※活動日は天候等により変更となる場合がありますので，最新情報はホームページ(トップページのお知らせ欄) をご確認

【凡例】

森:牛久自然観察の森
NC:牛久自然観察の森ネイチャーセンター
P:牛久自然観察の森駐車場
炭小屋:牛久自然観察の森駐車場奥の炭小屋
畑:牛久自然観察の森駐車場奥の畑
コジュケイ:牛久自然観察の森内コジュケイの林
観察舎畑:牛久自然観察の森内観察舎前の畑

ムジナ:結束町の雑木林(通称ムジナの里)

市役所:牛久市役所本庁舎
ボランティアC:牛久市ボランティア市民活動センター
中央生涯C:牛久市中央生涯学習センター

アヤメ園:三日月橋観光アヤメ園

(休園日):牛久自然観察の森休園日
(受):受託事業
(特):特別事業

編集後記

そろそろ梅雨に入る時期になりましたが、よくこの頃耳にする言葉に「五月晴れ」があります。調べてみると本来は「六月梅雨時に見られる晴れ間」をいうようですが、最近は「五月のすがすがしく晴れた日」を指して使うことが多くなったようです。六月は花菖蒲・紫陽花と雨に合う花が多く咲き、しとしと降る雨にも風情が感じられませんか。

●先日、車の中でラジオを聴いていたら気になる話題が二つありました。一つは、最近「スズメ（小鳥）」の数が減ってきたとのことです。立教大学の三上氏の調査によると、一九九〇年から比べて二〇年の間に生息数が五分の一になってしまったとか。スズメは人が近くにいるところに巣を作り、森林には作りません。三上氏の研究によると減少した原因は、①．木造建築が減り機密性のある住宅が多くなってきた（屋根瓦の隙間がなく巣を作れない）。②．子育てがうまくいかない。街中からスズメが餌をとる環境、具体的には舗装されていない小道・公園・空地が少なくなっている。③．巣立ったこどもが秋まで生存できない（カラス等に襲われる）。④．巣立ったこどもが冬を越せない（コンバインを使うことで落穂が減り栄養を充分に確保できない）。等の理由が考えられるとのことです。いわれてみれば最近スズメの数が少ないようです。

二つ目は、源氏ホタルの繁殖・保全のために、生態系を壊すような行動がとられているとのことです。それは、源氏ボタルには欠かせない「カワニナ」ですが、餌の確保のためにやみくもに「カワニナ」を移動している。「カワニナ」にはその地にしか生息しない種があり、移動することによって生態系が壊されるとのことです。片方を保全すれば一方が崩れる。慎重に生態系を考えてほしいとのことでした。（佐藤　輝雄）

広報委員会からのお知らせ

次号2010年7月号の発送は6月27日(日)午後1時からです。お手伝いいただける方はネーチャーセンターまでお越しください。(尚、発送日･時間につきましては都合により変更する場合がありますので事前に御確認いただければと思います) **よろしくお願いいたします。**